

施策評価シート(平成28年度評価実施)	担当部課名	産業環境部 観光商工課	関連部課名	企業立地推進課
基本目標	賑わいと元気あふれるまちづくり【産業】			
施策名	工業			
<p>新たな企業誘致を図るために、工業用地等の基盤整備、企業立地の優遇制度の創設などを進めるとともに、既存企業の活性化にむけて、経営診断や商工業振興資金の融資制度などの活用促進、産学官や異業種交流等による新技術・新製品開発、経営の近代化・強化などの取組を推進します。</p>				
<p>施策が目指す蒲郡市の将来の姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ●洗練された独自の技術とこだわりを持った地場産業など、蒲郡独自の製造業が注目されています。 ●地域とともに歩み、蒲郡から世界を目指す最先端技術を持った優良企業が育っています。 				

◆具体化した施策の取り組み実績

1 工業基盤の整備

項目	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度計画
工場立地法の適正な運営	0件(市内全域対象)	4件(市内全域対象)	2件(市内全域対象)
工場立地動向調査	9.5ha	-	6.6ha

2 企業の育成及び強化

項目	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度計画
各種商工団体補助事業補助金、補助率	410千円、18.8%	410千円、19.3%	410千円、17.7%
愛知県産業立地推進協議会等負担事業	45千円	45千円	45千円
企業再投資促進補助金、件数	170,551千円、1件	-	14,100千円
関西機械要素技術展への出展、出展企業数	-	3社	3社

3 地場産業の活性化

項目	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度計画
テックスピジョンミカワ事業補助金、負担率	3,400千円、28.0%	3,700千円、43.5%	3,700千円、40.0%
地場産業需要開拓支援事業、補助率	900千円、18.5%	900千円、18.4%	900千円、17.8%
ミカワ・テキスタイル・ネットワーク事業補助金、補助率	800千円、81.4%	800千円、100.0%	500千円、24.0%
織物文化等普及事業、手織体験実施回数	7千円、4回	131千円、5回	150千円、5回
くらふとフェアの開催、負担金	第10回、2,100千円	第11回、2,100千円	第12回、2,500千円

4 企業誘致

項目	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度計画
奨励措置対象事業奨励金事業	土地家屋16件、41,776千円	-	-
大型(1ha以上)企業誘致件数、面積	1件、4.6ha	-	1件、6.6ha

◆評価指標

指標名	区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	将来目標
テックスビジョン入場者数	目標値	5,000人	5,000人	5,000人	7,000人
	実績値	4,000人	4,000人		平成32年度
手織体験参加者数	目標値	150人	180人	200人	300人
	実績値	136人	162人		平成32年度
くらふとフェア出展者数、入場者数	目標値	250、25,000人	250、25,000人	220、25,000人	280、30,000人
	実績値	218、18,000人	198、22,000人		平成32年度

◆指標の説明・考え方

指標名	説明・考え方
テックスビジョン入場者数	広く市民を集客し、三河繊維産地をPRすると共に繊維業界の活性化を図る。
手織体験参加者数	三河木綿を使ったオリジナル作品を製作することで、地域ブランド「三河木綿」と、ものづくり文化の普及を図る。市民を対象とするだけでなく、知名度のあるイベント時に出前体験教室を実施することで、広く繊維産地を周知する。
くらふとフェア出展者数、入場者数	くらふとフェアを通じて「三河織物」「三河木綿」のPRをするるとともに、広域からの来場者を増やすことで地域経済への波及効果を狙う。

◆指標の分析

テックスビジョンは、繊維業界の活性化に繋がるものでなくてはならないと考えるが、現状については課題を残している。手織体験教室は市内小学校(23年度は中央小、24年度は中央小、東部小、25年度は中央小、東部小、形原北小、26年度は中央小、27年度は西部小、中央小)、海陽学園、市民を対象とした募集型の教室、くらふとフェア開催時等に実施しており、自ら一つの作品を作り上げる参加型の教室は好評価を得ており、「繊維のまち蒲郡」「三河木綿」の普及に効果的だと考える。くらふとフェアについては、年々認知度も上がり、出展希望者及び入場者ともに増加傾向にあり、手織場や竹島クラフトセンターの活動の場、アンテナショップ夢織人の認知度向上の機会にもなっている。

◆今後の方針

施策の課題 テックスビジョンミカワ事業をはじめ、各種商工団体補助事業、地場産業需要開拓支援事業、ミカワ・テキスタイル・ネットワーク事業、織物文化等普及事業、くらふとフェアについては、いずれも市の基幹産業である繊維産業の振興にかかわる事業である。しかしながら業界は依然厳しい状況にあり、これまでの団体への活動支援だけでは根本的な問題解決には至らないと思われる。今後、施策や支援のあり方について検証し、より効果的な方法を探る。また、くらふとフェアは、平成27年度から開催場所をみなとオアシス蒲郡及び竹島埠頭一帯に変更したため、今後は運営、周知方法など、新たな課題に対して改善を図る必要がある。

今後の施策展開 遊休農地を利用した、棉花栽培から製品化までの取り組みである「ミカワコットンプロジェクト」(平成24年度開始)は、事業化に結びついた。平成26年度に開催した「2014全国コットンサミットin蒲郡」を契機に、名古屋モード学園との連携や他産地との交流が図られ、地域ブランド「三河木綿」の知名度向上と地域繊維産業の活性化に繋がる事業が開される可能性がある。今後は個別事業者の販路開拓に繋がる施策が必要である。手織体験教室は、市内外の参加者が身近に三河木綿を感じ、ものづくりの良さを実感できることから好評で、今後も開催機会を増やしたい。くらふとフェアは、定着したイベントになりつつあるが、平成27年度に開催地を変更したため、改めて事業運営の在り方や目標を再考し、将来的に自立できる方向性を見出す。

課長評価	構成事業の進捗状況	B: おおむね計画どおり進行している。
	施策の進め方	B: 一部見直しが必要である。
	コメント	テックスビジョンミカワ事業をはじめとする地場産業である繊維業界への補助のあり方については、より具体的な目標を定め積極的な活動を行う事業へ個別に補助をするなど、支援の仕方を見直す時期にある。平成27年度からは、販路拡大事業費補助事業を実施し、個別事業者の販路拡大に資する取り組みを支援しており、その効果を検証したい。国の施策方針でもある、「地域ブランドを活用した地域活性化」は繊維産業の再興に有効であると期待できる。くらふとフェアについては、平成27年度から開催場所を変更したことで今後も改善を重ねる必要があるが、知名度も高まり、順調に推移している。

部長評価	施策の進捗状況	B: 目指す将来像実現に向けておおむね計画どおり進行している。
	コメント	市の基幹産業である繊維産業は、世界的な価格競争にさらされ依然厳しい状況にあり、産学連携した新技術で対応するのが現実的と思われテックスビジョンは一定の意義を果たしている。更に、中小企業の活性化を図るには、新たな販路を開拓する必要があり、市が行っている販路拡大事業費補助金の効果を見極めていくことが重要である。

施策に属する事務事業一覧

総合計画	所管課	番号	事業名	人件費を除く 事業費(千円)	人件費 (参考) (千円)	人工	総合評価	事業の 種別	市長 マニフェスト	実施 計画
2-3	企業立地推進課	47	企業誘致促進事業	304,540	29,086	4.00	A	カ	1-3	○
2-3	観光商工課	253	各種商工団体補助事業	410	876	0.15	B	オ	1-3	×
2-3	観光商工課	254	愛知県産業立地推進協議会等負担事業	15	251	0.05	B	オ	1-3	×
2-3	観光商工課	255	織物文化等普及事業	6	1,127	0.20	B	カ	1-3	×
2-3	観光商工課	257	くらふとフェア蒲郡	2,100	2,732	0.45	B	オ	1-3	○
2-3	観光商工課	258	奨励措置対象事業奨励金事業	30,859	503	0.10	C	オ	1-3	×
2-3	観光商工課	259	商工会議所運営支援事業	6,100	1,162	0.18	B	オ	1-3	×
2-3	観光商工課	260	商工会議所事業等支援事業	3,800	1,318	0.22	B	オ	1-3	×
2-3	観光商工課	261	テックスビジョンミカワ事業	3,700	1,162	0.18	B	オ	1-3	×
2-3	観光商工課	262	地場産業需要開拓支援事業	900	1,162	0.18	B	オ	1-3	×
2-3	観光商工課	263	ミカワテキスタイルネットワーク事業	800	789	0.13	B	オ	1-3	○